



連集良枝

十八公

丁固ト云人。夢ニ胸ノ上ニ松生タルヲ見テ人ニカガリケレ聞人
ノ云。松ハ十八公トカクナリ。十八年ノ後公死ヘト云ケルトナシ如
然十八年有テ。公ト成テサカヘケリ。ソレヨリ松ヲ十八公ト云

ひのさくはれ抱乃とあさめて

心敬

老死松ト云テ取成テ胸上ニ生タル。夢ヲサテ付レ其古事ニ成ナリ

蘆穂綿

関子驚ハ孔子ノ上ニ足リ弟子也母ヲクテ継母ヲモテリ。後ノ母ニ二
人ノ子アリ彼母驚ラニクニナリ父是ヲ不知。或時父他出ノ事アリテ驚ニ
車ヲ引出サレテ夜ニ突ニテ事ホカサテアルヒケルヲ父見テアヤシテ
衣ヲキテニル蘆ノ穂綿ヲシメサキモコトナリ

呼出ノ衣ヲトキテ三寶具綿ニシテヤリケル父怒テ妻ヲシテ去
母家テトキハ一子ガム母家ヲキテ三子ヲ去ラセテ此詞ニツモ去
妻モ又ニ去ル心ヲヒカス関午驚カ賢モ天下ニ及ヘリ

まゝにいふ中の一つなり
専順

誠ニ衣ノ中ニイツガリアリナリ

七步詩

魏ノ文帝弟ノ曹植ニ七步ノ間ニ詩ヲツツレ若ク不作木法行シ

ト云ケル則作ル詩ニ云

煮豆燃豆其豆在釜中泣 本是同根生 相煎何太急

如此作心豆曹植我身ヲイハ其兄ノ文帝ヲイハ豆モ其モ本是
同根ナル相煎ナリ何太急ナル御ナサケナキヨレノ詩也奇特ナル也
智也惣七步ノ戈ト云ハ奇特ナル戈ヲ云也

ゆゑに其の心なり

同根生ト作凡間オナレ子トツテリ連ルエタトハ兄弟連枝ト云
故也一句ノ心ハ只木ニテ也前ニヨル時此詩心也

王昭君

漢代匈奴北地ノ夷也東夷南蠻西戎北狄トテ四方ノ國中
ノ末ニ君ニシタカテ威勢アルモヲハ皆エヒスト云也日本ヲモ乳子
ハエヒスト云ナリ我九夷ヲラフク欲スト唐ヨリ東ニ九ノエヒスノ
國アリ日本ハ八番メトイハ日本ニモ四方ニ都ニシタカ父者ヲ
エヒスト云也熊野ナントト去程ニ漢ノ代胡國ノエヒスト中
ヲナフルヘト云宮中ノ美人ヲ一人給フテ夷云ケリ美人ヲツカハ
ナルヘトテ三千ノ宮女ノ中ノ悪女ヲ遣スヘシ是ヲハ撰出サント
大儀也トテ其容良ヲ繪ニウツテ御覽セラルニ各盡ニニ賄
賂メ良ヲヨカセケル昭君ハ我良ノヨキヲ憑テ黃金ノ賄ヲ
モヒカサレ盡工モ延壽僞テ良ヲミニクカク也帝御覽シテ

此昭君ヲツカスヘシト義定ノ呂山ノ三ノ第一ノ美人也編言
カハル事ナキ夏ナハ無カツカス朗詠ノ詩ヲ見ツシ今却
畫圖之中ト白樂天カ詩也ハルクト胡塞ノ地ヘ赴間旅々ツ
ニテ繪カレタリトコトクニミクナリタリト云詩ナリ馬上ニテ
琵琶ヲ彈レケルトイフ

あよりもる女やもろこしに
あひえひとれくろく入るこころ敬
みるこころは後の影乃つたにやからりやせうらうやハ
王昭君ト云題ニテ王昭君ニ成テヨリ鏡ヲミテ良ノヨキヲウラ
ム心也此良ヲ多クミテ贈ヲモセスカラスハ贈ヲモレテミ贈ヲ
レタラハカハラシヤトハカハルアサミレキ目ニアハメヤト
云心也又同題ニテ
昭君カアリサニ也

李夫人

漢ノ代ノ人也君ノ寵愛ナメラス死後反魂香ト云物ヲ多クテハ
面影ノミトクニエケルトナリ又畫ニカセテ御覽シケレトモ不
言不笑トテカナレミタミケルトナリ

あまたらるるわもくけもりか
あはれものもあはれりあはれりあはれり

專願

結髮

唐ノナラヒニヤ我妻ニ世ト思フ女ヲハオヴァヒトキ髮ヲ結ルヲタノ
メトス文集云與君結髮五載トイフ五ノトキ結ルカ伊勢物語
ニ井ツノ本ノ女ノワカキヲミテヨメル歌ノ返シ

くへいあはれ髪もかきぬあはれ髪もかきぬあはれ髪もかきぬ
あはれ髪もかきぬあはれ髪もかきぬあはれ髪もかきぬ
あはれ髪もかきぬあはれ髪もかきぬあはれ髪もかきぬ

宗伊

南風

唐ノ玄宗ノ寵愛也クハレクハ長恨歌ニアリ

上陽人

是モ玄宗ノ寵ヲ受タル人也然二十六年楊貴妃ニ思ハレテ上陽宮トテ都ノ巽ニ宮ヲ造テ窓雨ニ心ヲイタシメテ六十ヲ物思ニテ過シ給ヒシ人也文集上陽人ノ段ニ委見ヘタリ窓衣裳細黛無外人不見々可笑ナシト云詞アリ六十古宮窓雨ナシト云句多分上陽人ノ心ヲツル事不可勝計

朝雲暮雨

楚ノ襄王嬀龍ナル君也晝寢ヲレ給ヒケルニ巫山ノ神女瑞變ナル女ニテ夢ニミエケリサメテワカル時彼女云朝三行雲トナリ暮六行雨トナル朝々暮々陽臺下至ト云テ去又誠ニ其後モアレタニ雲タナヒキタニ雨フリケリ神女ナリト知テ廟ヲタテハ是ヲニツル巫女廟是也ミエノ殷夢ニ替テアサニミキ夢ナルヘシ雲ナリ雨トナルト云コト源氏ニハ死タル人ヲ

後京極

イリ死人ト同シ事ナレハ云カ

人ハ死マシメタルものありあけり雨れタもあけりものあり

宗祖

旅子タル朝夢サタル時分襄王ノメ面影思ヒイタス心ナリ

屈原

楚懷王ニツカヘテ三閭太夫タリ同列ノ太夫屈原カ多クナルヲ妬テ君ニ諂ス屈原ステニナカサレテ吟澤畔顔色憔悴形容枯槁トリノ渙父舟ヲサレヨセテ見テ問曰子三閭太夫ニアラスヤ何故ニコニ至哉屈原云世舉皆濁我ヒトリスメリ衆人皆醉我ヒトリ醒タリコノ故ハナタレタリ渙父曰聖人物不凝滯而能與世埒移世人皆濁何其泥濁其波不揚衆人皆醉何其糟餽其醑不飲何故深思高舉自令放乎屈原云我聞新沐者必冠彈新浴者必振振イッショ能身ノ察々タルヲ以テ物ノ汶々タルヲ受ニヤ寧湘流ニ

ハ越ノ大臣トノ政ヲ取テ功名福貴ヲ任意時節也然レモ功成
名遂身退ハ天ノ道ナリ。大名ノ下ニタク居ルカラス。太公望
退ト云テ勾踐ニイトラコヒテ乗舟泛五湖此五湖ハ呉越二
大湖也天下第一ノ名所也此湖水ニウカテ風烟ヲ樂メル也後二
姓名ヲ改テ陶朱公トモ或ハ鳩夷子皮トモ云其後ホドナ
ク呉ヨリ越ヲウチトルト云

みさゝいささまろれあうん

あつゝなる時ふねさるるもんゝて 宗祇

よそへぬる方ふけなうさるるん

まの中いあゝあみこにせ

こにさるるゆあまにせ

せねさるるあまにせ

同

ホニテ世ヲスツルハ皆范蠡カ古事也

函谷

孟嘗君ハ齊ノ公子ナリ秦ノ昭王ニツカヘケリ家富貴ニシテ
客ヲシム孤白ノ妻ヲモテリ狐子ノ腋ノ毛ニテツヽレ衣也
天下ノ重寶トスコレヲ昭王ニシテハオレニヒソカニ國ヲ出テ齊ニ
逃去夜深函谷ノ關ノ戸未ヒカス三千ノ客ノ中ニ鶏ノ鳴ニ子スルモ
アリ鳴ニ子ヲシテハ真ノ鶏モナキツヽホトニ關ノ戸開テコロヤスク
逃去又函谷ハ日本ノ逢坂ヲ下ク都東ニリト云和歌ニ鳥ノ虚音ト云是也

あまにせ

あまにせ 宗祇

明ヤラ又關ノ戸ニヘニテ昔ノ函谷ノ鶏ノ虚音ヲ願心也

不如歸

蜀國ノ王名ヲ杜宇ト申成都蜀都ヲ出テ旅ニ死ス其魂鳥ト成テ
春夏ニ鳴コレヲ思歸鳥ト号ス其故ハ古郷ヲコヒテ不知歸々々ト
鳴間不如歸鳥トモ云又子規蜀魂蜀魂トモ云皆蜀公ノ事
事也文選ニ鳥ハ杜宇カ魄ヨリ出トイヘリ此鳥オカ古郷ニ不返

秦ノ始皇死テ李斯趙高ト二人ノ臣下アリ始皇死時長子扶蘇
二位ヲ讓ル由ノ狀ヲ書テ李斯ニ給フ李斯此狀ヲハ隱テ扶蘇ニ
ツキ由御遺言ナリトテ兵ヲサレツカハス扶蘇不爭テ自殺ス
扶蘇ハ器用アリケル間如此レケリ胡亥トテ二番メノ御子ノ少ナ
ルヲ用ユ是ヲ二世トイフ李斯ハ趙高トモ二大臣トシテ秦ノ國ノ政ヲ
ツカサトラントセシ處ニ趙高又李斯ヲホロホサント思テ李斯殺逆
ノ心アル由二世王ニ諂ヒテケリ然間李斯モヨサル趙高イハ思コトモナ
クテ威勢ノアリニ庶ラサレテ馬ト云ケリ心ハ我威勢カノホトヲミシ
タメ也是ハ庶也馬ニテハナリトシテモ皆威勢ニ恐テ庶ヲ指テ馬ト
云ケレバソレニ置テ拾遺ニ車ノカモヲカリ二人ノ方ヘツカハシ
ケルニ無由申テハヨメル

か減してゐるものと云ふ人もあれどもそのとてあなかりなり
なりといふとびつゝもやあな庶やるともいふへりなる

車ノカモトハ多物カ歌ハハ庶ヲ指テ馬ト云世モアレ鴨ヲモ寫ト
取成也返事ハナシトイハオレトヤ思ラン庶ヲ指テ馬ト云偽タ
ル世タメアルスニ人ニ多カク無念ノ事也庶馬ト云クニ置タメ今
カモヲナリト云フモ實ニ世ニ偽タル世タメシラフムル心ナリ

ニ例につゝるはしむるやせしむる

三四放駒ソヤセタルアラハカヤウニ付カタル本説馬ト云タル故也
サテ二世胡亥ヲモ趙高カ聳ノ間樂ト云者ヲ遣テ打殺サテ
子嬰立テ爲王ワツカニ四十六百位ニ居テ天下乱漢ノ代ト成ヌ

四皓

遼公綺里季夏黃公綺里先生此四人秦乱ヲ避テ商山ト云山ニ隱居セシ
此四年皆八十有餘鬢眉皓白トシロカリケル四皓ト云也漢高祖時東宮
ヲトリカント云事アリナリ東宮ノ母張良ニ是ヲ談合セラル張良カ云
御書ヲモツテ商山ノ四皓ヲ召出サ旨ト申則書ヲ遣テ四人皇子ノ御モ

トニキス高祖見給テ詔シラレト問給フ則遠公將里李等ト答高祖
多ク羽翼成難動ト云臣君ノ羽翼ト云是也ウヨクハ子也源氏物語
ナトニモシロカニラ不耻出テツカフルトイハルヲテリ其時四皓ハ太子賓客
ト云太子ノミラウト云心也日本ニ東宮學士ト云官也東宮ニ物ヲ教ヘ
參スル官也カクテ四皓ヲ師トシ政ヲオサメ給フ漢ノ惠帝是也

七賢

晋ノ世ヲ去テ竹林ニ琴詩酒ノミヲ友トセシ人也名ハ嵇康阮籍王戎
山濤阮咸尚秀劉伶等ノ七人也其後山濤王戎ノ二人ハ出テツカヘリ
殘ノ五人ヲ五君トモ五賢トモ云也

蘇武

漢ノ世ニ胡國ノエヒスヲ平ケヌニ蘇武ヲ大將軍李陵ヲ副將軍トシ胡
地ニツカハスイクテ強シテ李陵ハ胡國ノ囚ト成ヌ然ル間驢ヲ降參シ
ヌ蘇武ハサスカニ大將タル間不降足ヲ剪カテ雪中ニ十九年ノ間羊ヲ
カハセケリ渴井窟水飲飢天上雪食スト李白ツクレリ鳳ノ延ニ書

札シテ後ニ蘇武カ子ニ天勢ヲシテ胡ヲ責隨テ蘇武飯洛スト云

四知

楊震ト云人ハ後漢ノ世ノ名儒關西ノ孔子トイヘレ人也荊州ノ刺史
タル王密ト云旧知音來テ夜金十斤ヲ懷ニ與之無知人公是ヲ莫
辭云楊震云天知地知汝知我知既四知アリ何知者ナレトイハシヤト
テ不受之コノ名言後代ニ傳ヘテ四知ノ畏トイヘリ

絶絃

絶絃

鍾子期伯牙二人琴ノ上手也子期死後伯牙琴ノ絃ヲ多チテ長ク琴
ヲ彈セス知音ノ友ナキヲウラル心也友ヲ知音ト云此古事也互ニ
琴ノ音ヲ聞知故也万葉梧桐ノ和琴夢ニ女ト化シ歌ヲ詠云
いづれんれとてよふもあはれ人のひまのくはれ
是モエノ古事ニテミル歌也古今ニ

琴のなまをまゐる人... 伯牙の曲ヲ彈入時子期云... 子期水ノ曲ヲ彈時伯牙云... 琴ノ曲也

琴のなまをまゐる人... 宗祇

五絃彈 文集云

第一第二絃索々秋風拂松疎... 風鶴ノ子ヲ憶色流水ナント皆琴ノ色也

月もあやめゆく四のを乃と

秋の夜をみとねりつるをねん同

二五ノ四絃トハ琵琶也付心五絃彈ノ第三第四ノ絃ト取成

雪山鳥

寒苦鳥上云寒ヲルニ云ニ此名アリ或經云寒苦責我夜明造栖... 又晝ニテハヨルノ寒ヲ忘テ今日不知死明日不知死何故造作栖安穩

是ハヒルコエヲヨミタラ也無常ヲツクオトロカスヨレ歌也惣雪山山也

羊歩

摩訶摩耶經云辟如... 摩訶摩耶經云辟如...

也。草ハ命ノ根也。二鼠ハ日月也。光陰也。大地ハ獄肆也。蜜滴ハ五穀
 樂也。一切衆生罪アルモ罪ナキモ元常ノ使ノ晝夜ニ追立ルモ不
 知日月ノ身ニセムル事ハ彼草根ヨリモ無程。只今カノ草根ノ如命
 タナハ惡道ニ落ツキテ獄肆ノ呵責ヲ蒙ラント云事ハ人々シトイ
 ヘトモカノ蜜滴ノ如ク眼耳鼻舌身意ノ六根ヨトリル處ノ愛欲ニ
 貪着シ只今カノ苦ヲ忘ト云辭也。黑白一鼠ハ經論ニ説皆日月也。

後京極ノ歌二

俊賴卿ノ歌二

土御門院御歌

あふれむものねとふむ前ふとふむいふはうめ月のかげ
 冬枯乃ちよふとふむいふはうめ月のかげ

諸葛孔明

蜀ノ劉備ト云ハ蜀ノ國王也。劉備天下ヲ平ケント思志在テ輔佐

ノ臣ヲ求メ南陽ト云處ノ山中ニ諸葛孔明ト云人アリ。天下
 第一ノ賢文。文武兼備ナル者也。然レトモ世ニモ不交閑居ノ田
 耕ヲアリケリ。劉備聞テ三度彼孔明カ草庵ニ到孔明其志
 切ナルヲ感シ蜀王ノ輔佐ト共ニ文武ノ秘策廻ニタヒ御幸セシ
 三顧ト云也。初孔明十萬軍ヲ卒ノ五丈原ト云處ニ陣ヲ張司馬
 宣王ト云人ト合戦。吾余日ヲ雖送物而敵スハス。刺ヘ孔明病
 付テ死セトス。其前ニ天ヨリ大流星自東北流西南ニカモ孔明カ陣
 ノ中ヘ落ヌ。是可死兆ナリヤカテ死スト云。

隨渡碑

晉羊枯ト云者賢名アル者也。襄陽ト云處ノ守ニテアリケリ。民
 ヲテテ政ヲ糾セリ。子ニ峴山ト云山ニアソヒケリ。羊枯死テ後其土
 ノ人民等。羊枯カ遺愛ヲ慕。峴山ニ碑ヲ立ケリ。行人見此碑。泪ヲ
 オトシケレハ隨渡碑ト云也。碑ハイシヲミトヨム。德アル人ノ死セ時。石
 ニ其人ノ德ヲエリツケ。立ルヲ碑ト云也。惠果和尚入滅ノ時。

ノホリナシトノ如ク故也詩曰臂上守宮何自消落如兩宮女ヲ戀タル詩トミタリ麻葱ハ宜男草ト云草也男ト云心也我身辟テ作レリ

お入るよとれあふるにみやもくも

守宮ノシルトカハル歌アリ扱虫ノシルト云リ。前ノ宮モリハ只宮人ノ事カワレニ守宮ヲ取成ナリ

似我々々

件ノ虫ハ蜂ノ一類也毛詩云蜾蠃有子。蜾蠃負之朝野云蜂他虫ヲ含シテ我巢ノ中ニ入テ咒ノ似我々々トイハ即蜂ニ成也故ニ似我々々トイフ也ワレニヨクト祈心也真言咒トハ皆正覺ノ佛名也是ヲ衆生唱ヘテ正覺ヲ成ヨト教給衆生如教コレヲ數返唱レハ正覺ヲナスモ只此似我々々我ニヨクト。夕ヒク咒願スハ蜂ニナルカ如トイヘリ咒トハ咒願トテ佛ノ

子カヒ也諸佛ノ名ヲ衆生唱テ佛ニ成カレト願給フ咒トイフ

杖

禮記云五十杖於家六十杖於國七十杖於國八十杖於朝次第々ニ杖ヲ事廣ナリナリ

杜鵑花

トナシクハ躑躅ノ事也杜鵑ハ郭公也杜鵑泣血ト云血ノ涙ヲ流ス鳥也此鳴時分紅ニ咲ニカノ血ニ染ルカトテ杜鵑花トモ云也岩ヅクハ杜鵑ト名ニア花分キヌサハ杜鵑モナケト云心ヲ

ももあけなふわなふなを哀れし 宗祇

三笑

晋惠遠法師廬山居舊虎溪不遇云爰陶淵明陸修靜ト云二人ノ詩人旧友成テハ酒ヲ多クハテ廬山ニ行遊テ飯ケラ送ルトテ不覺シテ影過溪橋三人拍掌大笑之三笑ト云也

の心酒よれあふるにみやもくも

前ノ句ハ琴詩酒ノ三友酒ノニアリテ琴詩ノナキヲカナ
シフ句也付所ハカノニ笑フ此酒ニゴフル心也

庭訓

嘗獨立鯉趨而過庭曰學詩乎對曰未也曰不學詩無以言
鯉退詩學他日又獨立鯉趨而過庭曰學禮乎對曰未也曰不學
禮无以立也鯉退而學禮陳亢退而喜曰問一得三聞詩聞禮又
聞君子遠其子鯉ハ孔子ノ子也鯉ノ庭ヲスルニ孔子ノ教給テ詞
也ソレヨリ和語ニ親ノオレヲ庭訓トイヘリ委論語ニアリ

胡蝶夢

莊子ト云人夢ニ蝶ト成テ百年花ニタハレテ死スルト云莊子ト
云書ハ切夢ヲ談タル書ト云リ堀川百首歌ニ
而トセモ花小蝶のてゐるで此世ハ蝶の夢にそゝる
人のみゐるをさすよこゝと云れ

苛政

孔子門人ヲ引見シ道ヲ過給フニ或山中ニ老女ノ子ヲ人抱泣井タ
ル有孔子何故ニ爰ニテ泣クト問セケハ答云我夫ヲ虎ニ食レヌ
子一人ヲモ食レヌケラス此子ヲモ我ヲモグラハレシトノ悲并ニ是
ヲウレヘテ泣ト云孔子曰サラハナト家ニ皈ラサル女答云家ニハ
苛政アリ苛政トハカラキ政也上ノキヒレキヲ苛政ト云孔子
是ヲ聞テ子路ト云者ヲメレテ苛政ハ虎ヨリハケト云事ヲル
サセテ皈リ給ヌ誠ニ上ノキヒレクカラキハ虎ヨリハツラカリケルア
ハナル事也家語ト云スハ孔子ノ一生涯ノ詞ノアツメタル物
也其中ニ此事モアリト云

前ハ苛政ヲコトフニサリトモ虎則山ヨリ苛政ヤシカラ

誠ニ難心知唐人哉ト付ル本説本歌ナトヲ取テ付レハカ
ヤウニ本文ノ心ヲモトキテ付ルト云是ニテ知ルヘシ

宗祇
安もいしきものか
宗祇

是モ同事ナレハ是ハ本文ノミニテ我モノヲラスト作
者モ申サレケルト云

斧柄

晋王質ト云者薪ヲ切ニ山ニ入ケル仙人其石圍井タル處ニ行又暫斧
ノ柄ヲツカヘテコレニルニ仙人ナツノ如ナル物ヲ王質ニ與ヘ是ヲ
食ケリ。初目クヌ薪切ト思テ斧ヲモタケハ王柄タレヌアヤ
シニテ家ニ返テミレハオモカケモナク荒果又レル人一人モナシ
不思議ニ思テ人トハ我七世ノ昔王質ト云者アリテ山ニ入テ不歸ト
カタリケリ。七世ノ孫ニテワアリケル古今ニ
あはれみしきものか
宗祇

此歌紫紫ニテ基ウチケル人置テ京へ上テツクシナル人許ヘ
ヤリレ歌也基ウチツル處意ト云心ヲオノエノ括レ處ト讀ル也

七里灘

萬事无心釣竿
平庄恨識列文叙
三公不換此江山
意得處名滿世間

嚴光字子陵嚴子陵ト云後漢光武皇帝ノ旧友同學ニテ久クア
ヒナレタリ其後光武天子ト成給フ子陵行方シラス成ス光武天下ニ
オホセテ是ヲ令来ヤウク尋得給フ羊裘キテ賤キ形也然トモ
帝旧好ヲ思テ閑往事ヲ語テ夜モ床ヲ同シ子陵我足ヲ以テ
光武腹上ニラケリ司天官奏云客星帝座ヲ犯スト申ケル光武咲
云是不可驚朕故人處爲也ト仰ラレテヤミヌ便以子陵補諫議大夫
辞便去富春山耕不出世七里灘ト云處ツリシ殘星タシニケリ難ハ
瀬也子陵ツリセシ後ハ七里灘ヲ嚴陵難トモ嚴陵瀬トモ云也
イニシハ光武子陵同學ノ旧友ノソヒ子ノ星ニガカリテ今ハ意ノ消
トソヒ子ノ星ヲ詠ルト云心ヲ

思ひしきものか
宗祇

長哉

の三十三

得失

楚弓塞馬二得失古事也楚王弓矢給臣下尋之王曰不可尋夫
得者アヲト云此詞ハ其比ノ名言トシ天下是ヲホセリ楚人失弓楚
人得之ト云詞カシナ孔子是ヲ聞給ヒテ是程ノ名言ヲ楚人ト
イヘルコソ世ケ是ヲ天下ノ名言トスルヲ楚ト云字ヲケテ人失
弓人得之ナルヘシト孔子ニミケルト云○塞馬ト宋人句云人間萬
事塞翁馬椎枕軒中聽雨眠此句意ハ人間萬事善不善惡必不
惡不可喜不可悲ト云也淮南子云塞上三翁アリ失馬皆訪之翁云
惡何必シモ惡ナラン數月アリテ此馬將駿馬來人皆賀之翁云善
何必善ナラン其子好騎馬隨折臂人皆訪之翁云惡何必惡ナラン
一年胡國大亂壯年者皆戰死此子獨以折臂故不出戰得金
壽此二物得失古事也此句楚弓塞馬ヲ付ルアラス只世間道理也得テ
喜ハ又失事ニルナセ也サレ願フスキス事ハ世ニナキヨレ句也

新地玖
波ニ在

一、ふねふねとつまぜり
人、ふねふねとつまぜり
人、ふねふねとつまぜり

宗祇

市隱家

小隱ハ隱陵數大隱々朝市此世ヲチニスチニス人ハ陵數トテ山
ニカクル陵ハ多カ數ハ多也只是ハ山ダレ大隱トテ世ヲスス人ハ
朝市トテ都ナケス多キ中モ交ル也トススス人ハ如此
此等ハ大隱人モ小隱ナラハ花見ニ來シ人モ可隱我住山ノ花ニ
都人ナトノ打乱テ酒宴ナトアレハ其衆ニ成テ人心ニ隨誠世ヲ
捨タル句也是ソコトニ心深セテ人ナト付ラル事也

同

朝市

アサイチニアラス朝市ト名利ノ也尤思蜀都賦云爲世朝市云注云
爭名者於朝爭利者於市トイリ朝トハ内裡也官位重職ノ名思人ハ

○子曰予欲无言子貢曰子如不言小子何述焉子曰天何言哉四時行焉百物生焉天何言哉云云孔子物ヲイハレト思ト云子貢ト弟
子カ云孔子若物ヲ多スハ所弟子也少子何ヲカヘシト云孔子曰天ハ物
子氏四時ヲハレ万物生スル事ヲ天ナス處ナリト云

あゝと云ふていふよみきまり

まづ秋と春のふりよつても天はそと 宗祇

○千里始足下高山起微塵云此心ヲ以テ古今序云遠キ處モ出
立足モトヨリ始タカキ山モ微塵ノチリトナヨリナリテ兩雲カハル
ニテトイヘリ前句千里始足下ト云句ニテ付也

ちりちりけりいなりと

あゝと云ふていふよみきまり 同

○公道世間惟自髮貴人頭上不曾饒云詩心ヲヨム也人ヲオツス自髮ノ
事也貴人頭上ヲモテサテ悉ク付ル句也コレニテハキナリ

いふと云ふていふよみきまり

○又云釣而不細不射宿云タトヒ釣ヲ垂テ魚ヲ取共大綱ヲタテ
キリテアリカキリトハ事ヲイハル也ヤスルトハコヲイル也空ヲトヒ
ナントスルヲハコヲス宿鳥ヲ并ハル情由也其心ヲ付ル句也

あゝと云ふていふよみきまり

あゝと云ふていふよみきまり 同

○顔淵喟然歎曰仰之弥高鑽之弥堅云顔淵顔面也孔子ノ
弟子也喟然トハナケク心也仰ハタカキレハ堅レトハ道ノ事也道ヲマ
ナレトスレ凡仰ケハ猶高鑽猶堅少々ニテハ至難由也鑽仰ト常ニ
云是也此付句モ歌道ナントノ廣博ナル事ヲナケレハ不安イカント
ナレハ仰猶高道ナレハ高砂ヲ松モ高ノ字ヲトルニテラス古今ノ序
ニ在江高砂ノ松モ相生ヤウニ覺ヘテト云云万葉ト古今ヲスミテ五
タカサコト云ト云トハ上ニ松ヲ付ルカレト相應セリ付句ニ

いふと云ふていふよみきまり

紅石アリ十云心也

氏林

花よ匂ひみちりてりつとむむ里と宗祇
○杜子美詩二朝回日々曲春衣毎日江頭盡醉飯酒債尋常
有行處人生七十古來稀此道四句各言ナル故三人白テ詩也
心朝トハ内裏君ニカフル身ナレカク云也朝ヨリ歸テ衣ヲ酒ニカヘテ
毎日醉也江頭ハ江南ノ事也詩人ノ多キ處也サルホトニ酒ノオヒモノ
行處ニテアリ債負物也第四ノ句二前ノ佗言ヲウチ拂テヨレク
人生七十古來稀ト云名言也杜子美カ時分タシモセトニスレリ
トイヘニ宗祇ノ八十二アルヲ哀ト云句ナルヘシ
あゝのいぢれりゝふあゝいぢれり

ひしとにさげくすれあるる年のあゝ 同
○松間寂々无烟火應服朝來一片霞列仙傳云仙人春食朝霞
云无烟火ト云句ヲ烟モタテヌト云處ニテトリ出ス也命ニテト
云ハワレニテ世ヲ渡ル事ヲ云又紫ヲ命ニテ釣ヲ命ニテナシト云コ

トノニカクルガリヲ命ニテト云句ハコトノハヲ頼ハカリニ命ノカク
リタル也ナニトモソレニテ命ノカカリタルコトヲ命ニテト云也

山人ハまろれりひもいのりもて 宗祇
○十日菊ト云題ニテ節去蜂愁蝶不知曉庭還繞折殘枝自緑今
日人心別未秋香一夜衰此詩ニテ付ラルナリ

一夜よりいさるんぞとてなす

たもさみけのあそナロ乃菊れけ 同

是同心蜂蝶節去ヲモ不知ト前詩アルユニカクノコトシ

わのこす菊をこころの宿り 御製

○一夜落花兩万城流水香ニ心ヲ

雨よけさむのあそなふあそなふ 尊順

○十二月ノ花鳥ニ二月ハ櫻ト雉ト也是二月ノ花鳥ノ發句也花鳥ノ
發句ヲスルハ花カ鳥カ一方ヲ云テ一各ハワレト聞元ヤウニスルモノ鳥

モ時ナルカナト云テ。雉ニ成也。論語ニ子曰山祭雖知時哉云云。路供
之三嗅而作云。山ニ雉ノ鳴ヲ聞テ孔子時哉云。給ヒテレハ路ト云
新予コレヲコロシテ奉孔子ノ心サラニ是ヲ人良ハヤノ心ニラス時ヲ知
テ鳴事ヲ感セラレ也。三タト鳴。ステラレシ事ハ子路カ隨分ノ心
サレカホナルヲモステサル心也。此發句花ハ櫻。鳥ヲハ時ナル哉ヤ
ト云テ。二月ノ花鳥ニナルナリ

むもるも時なるるれや櫻かり

宗砌

○是モ正月ノ花鳥也。花ハ柳鳥ハ鶯也。鶯ハ柳ヲ宿トスルコト
和漢同。漢ニハ梅ヨリモ柳ニ鶯ヲハ用來也。サルユニ初花鳥
柳ノ糸ニスヲカケヨト云也。スカ柳ハ柳ノ一名カ

いのかげよ初花もる乃よる柳

心敬

○輕舟短楫唱歌去水遠山長愁殺人水遠山長ト云。ウチカテ山遠水長
トセシタリ。愁殺ヲ殺ノ字詩ニ多シ。愁殺トハウレ子ハチタキ心也。飛
殺看殺笑殺ナント。ウテヲシヨリ皆ハチタキ心也

山をくみあふる月

宗砌

○春風剪樹ト云事アル也。春ノ梢ノ剪調タルヲウツクレキ。春風ノキ
リヒトセセルカト云心也。此發句ハ春風木ヲ剪ハ花ノ散ヲトフサニ似タリト云
トフサニ説アリ。ヨニテハユテラ也。又木ノ枝ヲモトフサト云也

木とさるる花とさるるまの風

專順

○五柳先生元有山偶然作客落人間秋來見月皎思多自起開
籠放白鷗此詩ノ心也。五柳先生ハ陶淵明也。モト山ニアリシカ賓客成
人間ニ出也。秋ニテハ六月ヲミテ山ニ散タキ心アル也。我々以テ籠中ノ鳥
心ヲ察ンサソ山ニ散リタク思ラントテ籠ヲ開テハナツト云詩也

このうしろの山をくみあふる月

○此歌ハ法華法師品ニ漸見濕土泥變定知近水ト云。題ニタル歌也。法華
ヲ高遠ニ思テ。ヤムコトナカレハ高高原モ穿鑿スレハ水ノアルモナリ
其処高遠ナル法華也ト示修習セシ道入ヘト法師品ニトカル

其処高遠ナル法華也ト示修習セシ道入ヘト法師品ニトカル

千載
此等皆法師品ノ心也
のちらつとく神れうるものひく宗祇
ひくせりものぬれあふ水れを付ふる

人よふあつとく○のせやは乃あ 宵拍
○佛ノ姨母摩訶波闍婆提ホトケノ授記ヲ蒙ラサル事ヲ恨テ
ルヲ佛聞給テ後ニ授記ヲサツテ給ヒケルト云

後ノ世はのちの世と云ふ
うゝんつとくそとて山れ月とれて宗祇

○衣ノ玉トハ法華ノ事也四巻ニ衣裏寶珠云或人酒ニ酔テ子タリ其間二人
其イ子タ著ノ衣裏無價ノ寶珠片價カキヲ又玉ヲカケテ置タルモ不知
酔サメテ求索衣食トテ衣食モトメタ他國ニテサテヨ行ガリ酔酒而臥
トテ無明酒酔卧真如衣裏ニ有テ不知分リナキ事也此玉ハ則法華也

醉卧人切衆生也玉ヲカケテ人釋也華ニ説置給テ人身ニ玉掛給成ヘ
いふへのおれさうりぬし今いぬれとたのうん

此歌ハ女房ノ出家スル時ノ歌也宗祇句不ハ手ニ取物也手ニトル
ヘキ衣ノ玉ハトラテ孟ヲハ手ニ取テ酔酒卧心ナリ

○思家火宅也思火也火ヲ思トヨメ歌數ヲ不知是玉ニ卷ニ三車火
宅ノ事也辭長者アリテ火宅ヲカヘテ居其宅ニ只一門アリ次第ニオ
トロフルニクツオチ柱根クチ又火付テ此家ヤクル時長者ノ稚子
家中ニ有テ不出父ノ長者門外ニアリテ悲ノアリ辛麻牛三車ヲ
カサリ色々ノ阮好物ヲツミテ共ニ三セテスカレ出シテ出オハル時ニ
大白牛車ヲ以テ寶前ニイタラシム此子共ハ三界衆生也父ハ釋也光
宅ハ三界也三車ハ三乗也小乗ノ法也大白牛車ハ法華也開三顯一ノ法
華ヲ云是也三車一車ノ事方ヘハ曉車ノ行音ヲ聞テ誰カ人ノ宅

ヲ出テ行ラント付ラレ

たきりておのひの家を出てん

あつた月よ車へ乗れをいふ

世中を牛車に乗るは思ふにあらむ

世間を牛車に乗るは思ふにあらむ

うしれりてはたのしきもの

乃あつたにけしき麻のくもる

前句ハ只カヲ子カフ由也牛ハ強カナル故也付心ハ法華ノカヲ

我ハタノミシ三乗ノ教ハ浅教ナレハト云心也

○三卷化城喻品心也アルヲ一人導師アリテ寶處へ誘引セント云五百由旬ノ

嶮難ノ山ヲ弱リ草臥タル氣色ヲ見テ中間一城化作寶所也ト云三ト寶處

思歡喜セシ事也法華ヲ開近顯遠ト云レ也カリノミヤコハ化城也

のりものもさき山さきに乃き

たまたまあつたにけしきやこのくもるへ宗

○イツシミトハ君ノ恩恵也云々事也付句法花トハ法華ニアラス

嚴事也花嚴ハ初三七日ト云テ釋尊ノ最初ノ說法也嚴字ライシ

クニミトヨム故也サテ付句ニ花ト云字ヲ置テ花嚴ニナル也ハレハ

遠クト云テ最初ノアルナリ花嚴ヲ最初ニ説ヨリ佛嚴四海満付也

いつくみしものくにさきぬれ

けのこれにめはとくむきこそ宗

○佛御入滅キミ諸子衆ヲ聚テ禪法ヲ説クニ波羅花ト云花ニ枝指揚給ス萬

ノ大衆ソ心ヲ不知愛ニ迦葉尊者并ニテ破顔微笑其時佛曰我正法眼藏涅槃

妙心實相无相微妙法門アリ摩訶迦葉ニ付囑スト宣去程ニ迦葉第二祖トス

牛リ世尊不説ノ説迦葉不聞聞ト云是也是ヲ拈花微笑ト云拈手ニサクル心也

あつたにけしきとさきぬれ

○西ヨリ來ル法ハ禪法也達磨ノ西天ヨリツタリ給フ故ニ云カ付心ハ如來

祖師西來ト云ケレハ庭前柏樹子ト云ケル心也今禪院ノ庭ニ云ハ木ヲ

あつたにけしきとさきぬれ

○西ヨリ來ル法ハ禪法也達磨ノ西天ヨリツタリ給フ故ニ云カ付心ハ如來

祖師西來ト云ケレハ庭前柏樹子ト云ケル心也今禪院ノ庭ニ云ハ木ヲ

それうしゝる事及いゝりひゝる事
前句歎付心歎ラ正書タル墨取成勢ヲ歎ニ付ル也

けいこめけいこめけいこめけいこめ
此句炭ニ歎ヲヨセ上ト云ニ歎ノ雲井ニカケルト付淮南王仙術ヲ

好テ學仙藥ヲ服ノ成其藥ツキタル曰キ子ナト雞大ナトノ
子フリケルカ仙ニ成テ雲ニホリケルト也其歎雲井ニカケリハ

遠世ノ事也今炭竈ノ烟ノ三雲井ニ上付ル也
尋友

王子猷山陰ト云處ニアリ山陰ハ王羲之以來王氏人居處也或時
大ニ雪フレリ四望皓然タリ月サへ出テ面白カリケル屋ヲ開テ獨

酒ヲ酌其比載安道ト云友タチ剡ト云處ニアリ川上ナリコノ
月雪ノ與ニ乗ノ小舩ニ掉安道ヲ尋テハルコトサシノホル既安

道カ門ニ至夜明月入タトモ云スニサシテ飯其故ヲ問

與ニ乘ノ來貞ツキテ然ト云誠ニ深情ナルヘシ歌ニ
山ノ雪やなごるゝ流ありて只いふ人の雪れぬ月 後京極

あけや花の雪はるめありて本乃すの月よはれとら
なごるまきらんちとりちとるなり

あけよとの雪れぬ月よはれとら
さそんちとる月よはれとら

あみくゝとるなる雪乃山け
此等ニナ其古事ヲ本トノ付ス句也

月ありなごるゝ流ありて只いふ人の雪れぬ月 心敬
都ノ感也雪月花ニタツ子ヌ友ノ多心也地盤古事ナリ

橘中仙
橘ノ木ヲワリテ三六中ニ仙人暮ウチテアリケルナリ

仙人ハ商山ノ四皓ニテアリケルトイヘリ
むらりたる月うらりたる月

スルサナクルガ如梭ト云テ織梭也手ヲ子ナテ。綱方ナデ
トラス也トハ阜物也。日月ノ早速ナルニダトフルナリ。サヲナクル
夢ト連歌ニシタラハ无常ノ句ナルヘ衣ラル。サヲナクル
クヘカラス只サヲナクルト云ナラハセル詞也

氷蠶

負嶠山ト云處ニ氷ノ蠶アリ霜雪ヲユレニ。ヲホハ糸トナル則衣
ニオリナス也火ニ入レ不燒水ニ入レ又レス東坡句ニ云氷蠶不
識寒火鼠不知暑云

少よりひくすめあらし路のひと 宗祇

滝ノ糸ノ長ク氷ルヲミテ。カノ氷蠶カト疑心也

五馬渡江

東晋文帝兄弟五人中原ト云處ヨリ江南向テ没落セシ其内
文帝ニトリ位ニツギ給ヒナリ。位ニツギ給ヒ時童謡五馬渡江一
化竜トイヘリ兄弟五人ヲ五馬ト云渡江トハ江南ニ没落セシ事也

一馬ト文帝也化竜ト位也。繪ナトニ常ニカク也

盤觚

物ノ始ヲ云也岷江ト云河ハ其始岷山ヨリ出テ小水ヲ觚ヲ盤云ル
ホトノ流ナレ氏楚國ヘ流入チ滄波万頃非舟船不可以涉山谷詩
云岷江始盤觚入楚即无底云 後撰歌ニ

つゝのれ岩よりわつるゝの川の底を流りて淵となつた

此歌ミナノ川モ我戀モハシメハソト分リニテ。フカキ淵トナル

心盤觚ヨクカナヘル歌ト云連歌ニ此心付句多

龍門

龍門ノ滝本ニ其スニアル魚凡悉此滝ヲホラン心アルナリ
ノホリエツレハ龍ト成トイヘリ此滝ニカキラス惣ソ川魚ハ大
小凡ニノホル事ヲ尋ヌルモテ也和州龍門ヲ唐龍門ニ推テ
地是龍門越水登ト天神ツクリ給ヘリ

わつとらんくききりーろくそくやと

りてふんのもをふたののし賢哉
タツ門トハ和別龍門ノコト也前ニ付ルガノ龍門ニトリ成也

三樂

采啓期云天生万物其中人爲貴我爲人一樂也男尊女卑我
爲男二樂也人生レテ有不見難得吾年九十五三樂也ト云

鳩枝

老人杖頭ニ鳩ノ頭ヲ刻テ用其心鳩ハ物不啼鳥ナリ老人ソレニアカリ
テ物ニ合レトナリ杖ニ乗ラ用其杖桑老ト云事アリ樂ノ名カ

雨鳩

雨鳩呼婦晴鳩逐婦云鳩ハ雨フハ我婦ヲ呼晴逐ト云リ

桃源

太元年武陵ト云處ノ人奥トランタメニ舟ヲサシテ谷ノ流ヲ行ニ道
ヲ失テ桃林ノキニシサレハサメル處ニ行カリ又百歩ノ内ニト木ナシ
落英續給タリ猶水上ヲ尋テニ山アリ山ニ少江アリ舟ヲ捨テ

歩行ニ人家アリ田地アリ雞犬アリ男女アニアリ漢人間之答云我ハ
秦時世乱ヲカレテコニ來ヨリ通事ナレトイリ桃源是也秦ヨリ
晋ニテ五百余歳也奇犬吠花豔流江桃之浦云ルコノ心ナリ

萍

百詠萍詩云頻隨旅客遊蘋水隨東西スル旅人ニタトス也古
今大伴黒主三河様ニ成テ下時小町ヲサソフ詞ニ縣ニニハ工出
タシヤト云ヤリケレハ

俗ぬまをまよふまればゆきとくさあゝはるをいふ
蘋ヲ旅客ニタトス物也我ヲ人ウキナニタトヘテサソフ我モ
旅立レト云心也

昇仙橋

城北七里昇仙橋アリ馬相如都ヲ出テ學文處へ行時此橋ノ
柱ニ題曰大丈夫駟馬ノ車ニ不棄復不遇此橋云心我學文ヲ
トケテ高官ノ身ト成テ駟馬ノ高車ニルホトノ身ニ不復此

橋ヲ渡ラシト誓テ橋柱ニ書付テ行ケルカ。ホトナク思ノ如
成ケルトイリ堀河院百首橋題歌ニ 匡房

六百番歌合寄橋戀 顯昭

我々さうくつらよもまは海しとものうら橋よあはれん
定家難題百首橋下款冬

楊梅いろりやむらんをれく河いそそむの聲あまののむ
此歌ハ昔ノ相如ハ思事ヲ色ニ出テ橋柱ニ書付ケリ。此款冬ハ思事ヲ言フ
句トヨス也。款冬ヲイハストヨ事ハ僧正遍昭イハ良峯ノ宗貞ニテ好色并
ナカリケリ。是ヲ帝ニロシトヤ。后ニ子ヲシテ款冬色ノ御衣ヲ引カシテ御
簾ノ中ニワタセ給フ。宗貞コレヲサウシ奉アテ御返事ナシ其時
あめさけ花さるるやや作とてこころななりや
上讀時御門御良ヲ出シ給。宗貞心中思雖然アテ勅勘ナクイヨク御氣
色ヨカリケルト云。オソレハ故此歌ヲ子息ノ素性ニマリケルト云。シヨリ

以來ヤミキゾイハストヨニチラス。宗貞サヤウノ御ナサケアリカタク
思ケルヤ。仁明天皇御御ノ後御送ニ出シマ家ニモ不飯十八テ遣世ノ
僧マテ任シテ御菩提ヲナスケ奉リ也。彼遣世ノ趣大和物語ニアリ

菱花 鑑ヲ菱花ト云

池あけひーの花しそわいこる 行助

堯位ニツキ給ヒテ民ノ費ヲイタミテ茅茨不剪。棧椽不削。衣裳無文。トイ
ハリ家ヲ費ニチカヤナレト。キリトノフル事ナク。枕木ナレト。サツラス黒木也。衣
裳モ文ナトツテ染ル事ナレ。サレハ堯ハ今ニ賢君ト申傳タリ

鳥鵲繞木

月明星稀鳥鵲南飛繞木三匝何之枝依短歌行鳥鵲在ニカラス
也木ニトマル時ニ三返木ヲメクサテトナル也

あけけめくるさるるの川あ
かきききこのうも乃本にありて當

西湖

兩梅蓮柳ナシト名地也若把西湖比西施淡粧濃抹兩相宜云詩
西湖ノ雨ノ詩也西湖ヲ西施ト云美人ニ多クシハ雨ノフルトキハ西施ガ
假粧シタルニ似タリ晴ツシハ西施カタカホヲニル中クフタツチカ
面自レト付ルナリ只地景ヲホメトテカク云也

舟の入りし梅ありあなうり

日あめしれあ海とみくあ晴れて 宗伊

西ノミツウミチトサレ出タル向カラ無骨也日ハ西ノミツウミト云夕暮
ニ舟ノヨキ入軒梅ト雨ト云テ西湖ノ地景ヲホメタル面白キ句ナリ

人日

正月一日雞ノ日ト云二日ヲ狗三日ヲ猪四日ヲ羊五日ヲ牛六日馬七日
人日ト云八日ヲ穀日ト云テ此日天氣能風吹ヌラ豊年ノ兆トス
雞狗猪羊牛馬人日ト云也六日テヲ六畜ノ日トス七日ヲ人ノ日トス
人の日なりと云ふことのと云ふことなり 宗伊

葵

葵ハ日ヲオツル花也葉ヲ日ノヌグル方ニカタフケテ本ヲカク
スト也百詠ノ詩ニ葵ノ日カケニカタフクカ如我七君ニ頭ヲ
傾テ朝タ仕ヘト云詩アリ 俊成歌ニ

葵ノ日ニ傾ク如ク我モ神ト君トニ心ヲ傾クルヲ天照大神モハ

レニ給フラント云也左傳云鮑莊之智不如葵之猶能衛其

足云心ハ其比鮑莊罪ヲナス事アリテ足ヲ則然ハ葵スニハオト

レリ以テ以葉其モトヲカツレテ用心スル故ニ五難鮑莊足

ニ用心ナキヲアサケル詞也

○棟樑下俗字也 花信風雨梅 歲時記云九一年中花信風

尤四番吹也梅ニ吹ソメテ棟樑ニトナル

梅と風と云ふ句のあつたや 宗伊

隣笛

文選思旧賦隣人吹笛其音寥亮夕夕ト云

三徑

蔣翊三徑三道貧家也イカナル貧家ニモ三徑ハアルモノ也其三
ハ門ハ行道井ハ行道東司ハ行道也蔣翊ト云者貧家ニテ三徑
アリ辨明力家ニモ三徑アリ源氏ニ蓬生ノ宿ニテ三チアリト云
○楓橋夜泊 月落烏啼霜滿天江楓漁火對愁眠枯蘇城外
寒山寺夜半鐘聲到客船

三月晦日 三月正當二十日風光別我苦吟身與君今夜
不須睡未到曉鐘猶是春

連集良枝終

華啓

海東郡

羊乃力

平也セウシロ

